

令和6（2024）年度 公益財団法人とちぎ未来づくり財団事業計画

I 基本方針

定款に基づき、令和6（2024）年度においても、次代を担う子ども及び青少年の福祉の増進に資するとともに、県民の生活に潤いと活力をもたらす文化の振興に寄与するため、子ども及び青少年が健やかに成長できるための青少年健全育成事業、芸術性・公共性の高い文化振興事業、埋蔵文化財の調査研究・保存・普及啓発事業などを、相互の連携のもとに展開し、公益財団法人として、より公益性を意識した事業展開を進め、地域社会に貢献していく。

当財団が管理運営を行っている指定管理施設のうち、総合文化センター、とちぎ海浜自然の家、なす高原自然の家については、令和6（2024）年度より新たな指定期間として運営を行うこととなる。新たな事業展開や管理運営の工夫等、指定管理申請書で提案した事項を着実に実施していく。

加えて、子ども総合科学館が、本年1月から約1年9か月にわたり大規模改修のため屋内施設を休館としている。休館中、アウトリーチ事業等を積極的に展開するとともに、令和7（2025）年10月のリニューアルオープンに向けて県と連携を図りながら適切に準備を進める。

また、ここ数年、財団の運営に大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症の感染状況は、落ち着きを見せてはいるものの完全な終息には至っていない。引き続き事業の実施及び利用者の受入にあたっては、安全・安心を最優先に適切な対応を行っていくと共に、物価高騰等による管理運営経費への影響は今年度も続くことが予想されることから、業務の見直しや収益の向上及び徹底的な経費の節減に努め、効果的・効率的な管理運営を行う。

II 主要事業内容

1 青少年健全育成事業【栃木県青少年育成県民会議事業】（公益事業1）

心豊かでたくましいとちぎの青少年の育成をめざして、国、県、青少年育成市町村民会議、市町関係行政機関及び青少年の健全育成を図る諸団体と緊密な連携のもと事業を展開する。

(1) 市町村民会議との連携強化・住民啓発促進に関する事業

県内全市町に設置された青少年育成市町村民会議との連携強化に努め、市町における青少年育成活動の活性化を促進するとともに、青少年育成に関する情報を発信し、住民の青少年育成に対する関心を高めていく。

ア 青少年育成市町村民会議支援

- イ 青少年育成指導員活動支援
- ウ 広報啓発
- エ 関係団体連携

(2) 青少年の自立と社会参加活動の推進に関する事業

青少年が主体的に判断し行動できる資質や能力を身につけるための事業を実施し、社会的に自立した青少年の育成を図る。

- ア 少年の主張発表大会
- イ 青少年育成県民会議表彰
- ウ 親子学び合い事業～ネット時代の歩き方講習会～
- エ とちぎネット利用アドバイザーフォローアップ研修
- オ とちぎネット利用アドバイザー養成講座
- カ 青少年育成セミナー
- キ ミライチャレンジプロジェクト事業（県と共催による新規事業）

(3) 「とちぎ 心のスクラム県民運動」推進事業

青少年育成県民運動の一層の連携と推進を図るため、県や市町、教育委員会、県警など関係団体との連携を強化し、県民運動推進体制の整備を図る。

- ア 「家庭の日」推進（「家庭の日」絵日記コンテスト等）ほか

2 栃木県子ども総合科学館管理運営事業（公益事業1）

令和6年度は、屋内施設の大規模改修工事に伴い、屋外施設のみの利用となることから、事業の継続性とリニューアル後の利用者拡大につながるよう、他の県有施設等と連携して各種事業を展開するとともに、これまで分野ごとに実施してきた出前事業等をアウトリーチ活動として拡充し、各学校や児童福祉施設、各市町のイベント等において実施する。

(1) 科学館の屋外施設を活用した事業

- ア 屋外サイエンスショー・科学体験イベント

サイエンスショーをはじめ巨大シャボン玉づくりや水の濾過体験、自然観察など、屋外ならではの科学体験が楽しめる催しを実施する。

- イ 天体観察会

天体の観察を通じて天文や宇宙への興味・関心を高めるため、屋外の広場において、「太陽をみる会」や「星をみる会」を実施する。

- ウ 体験・育成事業

子どもたちの健全な育成を図るため、身体健康増進を図る「忍者道場」や「ウォーターバトル」などのあそびのプログラム事業を実施する。

- エ 乗り物広場の運営及び屋外遊具の管理

変わり種自転車の貸し出し、ミニ機関車の運行とそれらに係る点検・整備等の実施、並びに屋外遊具の安全点検を実施する。

(2) 科学館以外の他の県有施設と連携した事業

ア 企画展の開催

- ・第84回（春）企画展「ビー玉でサイエンス in 栃木県立博物館」

期日：5月上旬

場所：県立博物館

内容：令和5年度夏の企画展で製作した展示品を中心としたミニ企画展として実施する。

- ・第85回（夏）企画展「科学館がやってきた！とちぎサイエンスツアー」

期日：7月下旬～8月下旬

場所：なかがわ水遊園、とちぎ花センター、県立博物館

内容：科学館の楽しさを知っていただき、リニューアル後の集客につなげるため、現施設の展示品を活用して科学館の体験型展示品をパッケージ化し、県北、県央、県南の関係施設を会場とし、各1週間程度で巡回して実施する。

- ・第86回（春）企画展「とちぎサイエンスツアー パート2」

期日：令和7年3月下旬

場所：調整中

内容：夏の企画展を継続し、パッケージの一部を入替えて実施する。

イ 科学技術コンクール ーロボット・チャレンジ 2024ー

期日：11月9日(土)

場所：とちぎ青少年センター

内容：ものづくりの機会の少なくなった青少年を対象に、自作ロボットの競技会を行う。

ウ 体験・育成事業

子どもたちの健全な育成を図るため、子ども同士の交流を促進する「おしごとラボ」、子育て支援のための「まめっこタイム」などのあそびのプログラム事業を実施する。

(3) アウトリーチ事業（目標回数：年間200回以上）

これまで培ってきた科学普及啓発・児童健全育成のプログラムを用いたアウトリーチ事業を拡充して実施する。

ア 科学プログラム（12種）

サイエンスショー、科学工作教室

イ 天文プログラム（8種）

天体観察教室、星と宇宙の話、天文工作教室

ウ あそびプログラム（8種）

あそびの出前、工作のテイクアウト
エ 複合型プログラム（出張！まるっと科学館）

(4) 県内児童健全育成団体等への支援・指導、連絡調整等の事業

県内児童館・放課後児童クラブへの情報提供及び児童館職員等の資質向上のための研修事業、栃木県児童館連絡協議会事務局としての県内児童館への活動支援や連携の強化事業など、県内各種児童健全育成団体等への支援を行う。

ア 栃木県児童館連絡協議会事務局（総会、実技研修会等）

イ 児童館職員等研修事業（講演2回、演習3回）

(5) その他の関連する事業

ア 広報活動の充実

休館中においても、既存のホームページ、SNS、広報紙等を活用し、科学館における各種イベント等の告知やアウトリーチ事業の進捗状況等の情報発信を行う。

イ リニューアル対応等

ホームページに新たなアーカイブサイトを開設し、これまでの科学館の歩みや撤去される展示品の状況、科学や宇宙に関するクイズなどのコンテンツを設けて改修前の施設状況等を紹介するとともに、改修工事の進捗状況等の情報提供に努める。

大規模改修工事が安全かつ円滑に行われるよう県や工事業者等との連絡調整に努めるとともに、令和7年秋のリニューアルオープン後の管理運営計画の検討を行い、県をはじめ関係機関との調整等を行う。

3 栃木県立とちぎ海浜自然の家管理運営事業（公益事業1）

栃木の子どもたちに海の自然や文化に触れさせる「海の分教場」、幅広い利用者に多様な学習の場を提供する「生涯学習施設」としての役割を果たすとともに、「とちぎの海のふるさと」として青少年の健全育成と生涯学習の振興を図る。

令和6年度は、指定管理者として新規指定期間の初年度となる。空調・照明の大規模改修により利用者の利便性が大きく向上し、快適に過ごせる生活や活動の場の提供が可能になったことについて、新マスコットキャラクター「海ぴい」も活用しながら、県内居住者はもとより県外居住者も含めた利用者に対して積極的な広報活動を行うことにより利用の促進につなげていく。

	令和5年度（見込）	令和6年度目標	対比（%）
延利用者数	35,973名	57,000名	158.5
主催事業参加者数	1,047名（10事業）	1,630名（11事業）	155.7
利用料金収入（税込）	20,987千円	42,764千円	203.8

- (1) 臨海自然教室事業（5月～1月を原則として通常の授業日に実施する。）
 栃木県の小学5年生を対象に、海辺での集団宿泊や自然活動など、様々な体験的な学習を教育活動の一環として実施する（「海の分教場」としての重点事業）。
 活動プログラムの提供を行うとともに、実施にあたっての指導助言などを行うことにより、安全に有意義な体験活動が行えるよう支援する。
- (2) 各種団体受入事業（4月～3月）
 県内外の学校教育・社会教育団体や企業等を受け入れ、研修、交流活動、家族の触れ合い活動等を支援する。
 施設・備品等の貸出しや活動プログラムの提供・活動に対する助言を行うことにより、安全に有意義な生涯学習活動が行えるよう支援する。
- (3) 主催事業（11事業13回）
 地域の産業・文化を積極的に取り入れるなど、地域や関係諸団体と連携しながら主催事業を企画実施する。今年度は、周辺の自然環境を活用した体験活動等を行うなどメニューの充実を図るとともに、例年人気のある内容を多く取り入れたり茨城県民と共同した事業を行うことなどにより利用層の更なる開拓を図る。
 ア メロン狩り
 イ 地引き網
 ウ さつまいも掘り
 エ つば焼きいも ほか

4 栃木県立なす高原自然の家管理運営事業（公益事業1）

山の自然や文化に触れさせる「山の分教場」「生涯学習施設」として、周辺の豊かな自然環境を活用した青少年の団体宿泊学習や県民の多様な団体活動を支援することにより、青少年の健全育成と生涯学習の振興を図る。

令和6年度は、指定管理者として新規指定期間の初年度となる。引き続き地域との連携、SDGs、体験活動の啓発・推進などを盛り込んだ「グランドデザイン2024」を作成し、情報発信に努め、取組を強化する。また、引き続き活動プログラムの開発・改善、新規主催事業の企画立案、施設の設置目的に沿った新しい利用形態の検討・利用者層の開拓を行う。

	令和5年度（見込）	令和6年度目標	対比（%）
延利用者数	29,459名	31,000名	105.2
主催事業参加者数	406名（12事業）	430名（11事業）	105.9
利用料金収入（税込）	23,000千円	24,149千円	105.0

- (1) 各種団体受入事業

栃木県内外の学校や社会教育団体等に研修の場を提供し、活動を支援する。
施設、備品等の貸出し、活動プログラムの提供や活動に対する助言を行うことにより安心安全で有意義な研修・体験活動が行えるよう支援する。

(2) 主催事業（11事業11回）

周辺の自然環境や教育資源等を生かし、「学び」や「気づき」を実感できる主催事業を企画実施する。参加者は県内外から募集する。

ア ファミリー登山教室

イ ふれあい広場

ウ ウインディ親子読書～絵本と自然に親しむ集い in 那須～

エ ウインディウインターキャンプ ほか

5 文化の振興に関する事業（公益事業2）

県民文化の振興と文化活動の支援のため、良質な舞台芸術の鑑賞事業と県民参加事業を提供する。

(1) 自主財源による文化事業

財団主催の各種文化事業及び民間事業団体等との各種共催事業を実施する。

ア 主催事業

・平日の贈り物♪ランチタイムコンサートシリーズ 全6回

「大嶋浩美ピアノ・リサイタル」（ピアノ）

「4 klore コンサート」（朗読・フルート・ピアノ・ダンス）ほか

・松竹特別歌舞伎 中村獅童の How To かぶき

・佐渡裕指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団 with 角野隼斗 ほか

イ 共催事業

・上妻宏光・宮田大 Duo Concert Tour-月食-

・劇団四季ミュージカル「ジーザス・クライスト=スーパースター」

・ジョージア国立バレエ公演 ほか

(2) 栃木県補助金等による文化事業

ア 鑑賞型事業

・狂言 万作の会

イ とちぎ舞台芸術アカデミー（参加創造交流型文化事業）

・第4回栃木県新人音楽家演奏会 -未来にはばたけ とちぎの音楽人-

・第28回『コンセール・マロニエ21』（弦楽器部門）

・学校訪問演奏会『音楽って素晴らしい！学校でこんにちは！』

（上都賀・河内・芳賀地区） ほか

（40事業88公演）

6 埋蔵文化財の保護、調査研究及び普及啓発に関する事業（公益事業3）

栃木県及び国、県内市町の委託を受けて、開発地内等の埋蔵文化財の発掘調査事業を実施するとともに、栃木県からの委託により、埋蔵文化財センターの施設の管理、埋蔵文化財の保存活用及び埋蔵文化財についての知識の普及に関する事業を行う。

(1) 埋蔵文化財発掘調査事業（発掘調査及び整理作業予定件数 13件）

ア 栃木県からの受託事業

- ・いにしえのとちぎ発見どき土器わく湧くプロジェクト／^{さむらいづか}侍塚古墳（大田原市）
- ・道路整備事業／^{じょう}城ノ^{うち}内遺跡（上三川町）ほか
- ・農地整備事業／^{こいずみぶんこううら}小泉分校裏遺跡・^{やまね}山根遺跡ほか（益子町）
- ・遺跡確認調査／イに係る事前確認調査（野木町）

イ 国からの受託事業（国土交通省）

- ・思川堤防整備事業（野木町）

ウ 市町からの受託事業

- ・栗宮新都心区画整理事業（小山市）
- ・佐野市遺跡詳細分布調査 ほか

(2) 栃木県埋蔵文化財センターの管理及び埋蔵文化財の保存活用・普及啓発事業

ア 埋蔵文化財に関する情報収集及び提供

- ・県内の埋蔵文化財に関する情報の収集
- ・遺物、図面、写真等の貸出
- ・「埋蔵文化財センターだより」「とちぎ発掘調査成果情報誌」等の印刷物による情報発信
- ・ホームページやSNS等による情報発信

イ 埋蔵文化財に関する普及啓発

- ・展示／常設展及び年4回の企画展ほか
- ・講座・講演会／特別講演会、企画展講座ほか
- ・施設公開／バックヤードツアー、埋蔵文化財センター特別公開
- ・説明会・見学会／現地説明会、史跡見学会、学校・団体のセンター見学
- ・出前授業／学校・公民館等への出前授業・講座講師
- ・地域連携／市町等と連携した遺跡・出土品を活用した事業等の支援

ウ 研修

- ・埋蔵文化財担当者研修会／市町の埋蔵文化財担当者等を対象とした研修会の開催
- ・ボランティア養成講座／普及事業に協力するボランティアを養成する講座を実施

エ 埋蔵文化財に関する出土品の資料管理

- ・ 出土品や記録した図面、写真、デジタルデータ等の保管管理
- ・ 退色する可能性のあるカラースライドフィルム等のデジタルデータ化

7 栃木県総合文化センター管理運営事業（収益事業）

県内文化振興の拠点施設である栃木県総合文化センターの施設管理及び利用者サービス事業等を行うとともに、広く県内の文化振興を図るため、県内各種芸術文化団体・公立文化施設等とのネットワークを活かして、文化振興事業等実施の支援を行う。

令和6年度は、指定管理者として新規指定期間 10 年間の初年度となることから、施設管理の運営方法の見直しを図り、利便性やホスピタリティー等向上させることにより、施設利用促進と収益の増加を図っていく。

	令和5年度（見込）	令和6年度目標	対比（%）
利用率	60.0	65.0	+5.0
（%）			
メインホール	70.0	80.0	+10.0
サブホール	60.0	65.0	+5.0
ギャラリー	55.0	65.0	+10.0
会議室	60.0	65.0	+5.0
練習室他			
利用料金収入（税込）	124,000 千円	140,000 千円	112.9

(1) 施設利用受付業務

ホール、ギャラリー、会議室、各種練習室等の貸出しを行う。

(2) 利用者サービス業務

イベントカレンダーの発行、ホームページやメールマガジン等による催事情報の提供を行うとともに、文化団体や企業向けに施設利用促進を図る広報活動を行う。

また施設利用に関する助言のほか、利用者のニーズに合わせてケータリングや会場設営などのサービスを提供する「らくらくサービス」事業を実施する。

(3) 施設の維持管理業務

快適な館内環境の維持や、設備・備品等の管理を行う。

また、来館者の安全を守るため、防災設備等の保守点検及び消防訓練等を実施する。

大規模改修の際、予算の都合で工事内容から漏れた修繕等について、県と協議の上、計画的に対応していく。

8 生涯学習の振興に関する事業

財団主催事業として、県民の学習ニーズに合わせて当財団のソフト・ハードを

活用して開催する講座等を、「とちぎ県民カレッジ」に登録し、広く県民に学びの場を提供する。

※参考資料参照（参考資料の○印がとちぎ県民カレッジ登録事業）